

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立意東小学校）

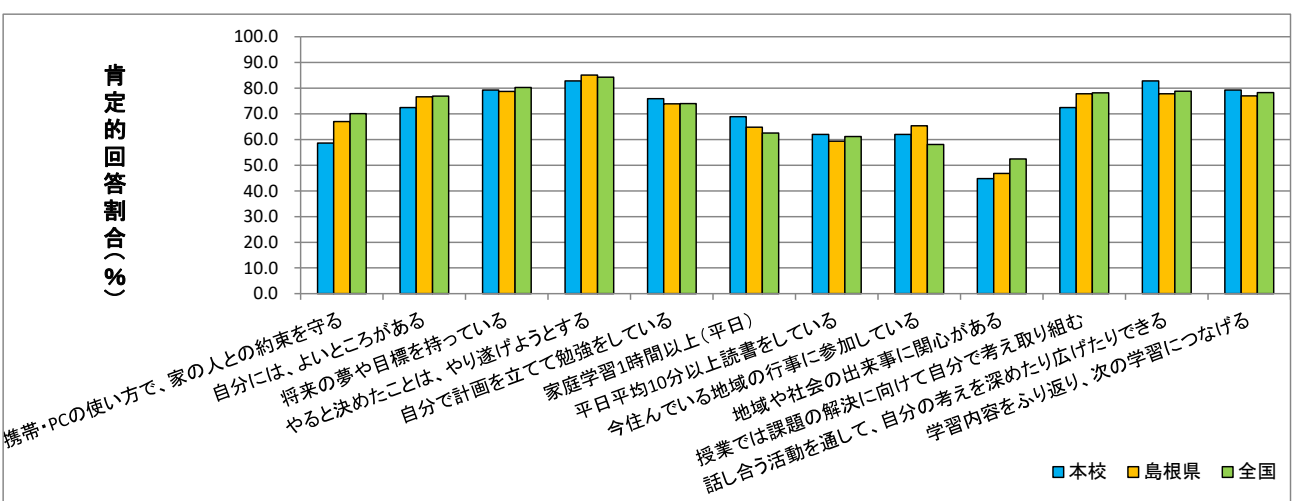
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果、●:課題)	対 策
国語	○学習した漢字を文の中で正しく使うことができる。 ●自分の考えたことが明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考慮することができていない。 ●問題文を正確に読み取ることができず、題意にそった解答ができていない。	・授業の中で、教科書で使用する学習用語を使って説明する習慣をつけさせたり、指導者も意識して使うようにする。 ・文章構成については、話すこと・書くことと関連付けて指導を重ねる。構成を理解する際、その効果についても併せて考えるような学習活動を組むようにする。 ・読書活動を活発に行うとともに、細部の読み取りに偏らないよう、文章全体に目を向けさせる指導も大切にする。
算数	○速さを求める除法の式と商の意味を理解している。 ●調べる対象の特徴を捉えるために、どのようなデータを収集すべきか判断することができていない。 ●図形の面積の求め方についての理解ができていない。	・グラフなどのデータを活用した数学的活動を取り入れ、数量の関係や特徴を分類整理できるようにする。 ・図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて面積の計算ができるようにする。

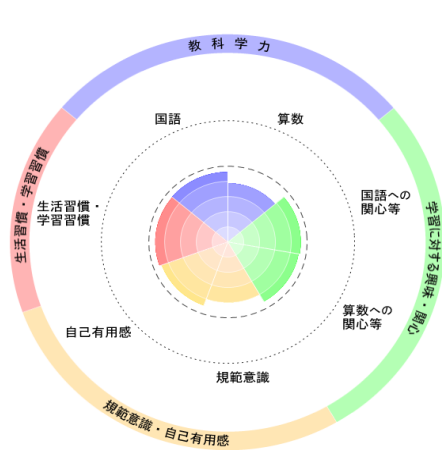
(2)生活意識調査から見られた傾向

成果と課題(○:成果、●:課題)	対 策
○「授業の中で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりできる」と感じている児童の割合が高い。 ○家庭学習は、時間をかけて丁寧にやっている児童の割合が高い。 ●メディア使用に関して、「家の人との約束を守れている」という児童の割合が低い。	・メディアの使用について、学校全体として課題意識をもち、家庭との連携を強化した取組を行う。 ・頑張っている姿をしっかりと認め、一人一人が自分の生活習慣をふり返り、より良くしていくことができるよう助言する。

(3)意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・低学年のうちから、正しい学習規律を身に付けられるよう、指導事項について共通理解を図りながら系統性をもった指導を行う。 ・読書活動を進んで行えるような環境整備と機会の保障をする。
--

【受検者数】 29 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。